

リスクアセスメントシート評価表

化学物質管理担当者を定めて有害性を管理してください  
(黄色網掛け部に○を選択するか○か×を選択してください)

会社名/事業所:

単位作業場:

評価日:

資材	使用する 資材の種類	資材の ハザード レベル	使用する 資材  (使用する 全ての 種類に○ を付けて 下さい)	発散濃度①		低減措置②														リスクレベル						
				(1)使用量  使用量/8h kl (ton)+3 l (Kg)+2 ml (g)+1  (初期値 インキ: +2 湿し水: +2 洗浄剤: +2)	(2)揮発性  沸点 50度未満+3 50-150度+2 150度以上+1  (初期値 インキ: +1 湿し水: +2 洗浄剤: +2)	印刷機洗浄における措置				換気によるばく露対策				VOC警報器		その他対策				①  発散濃 度ポイ ント (1)+(2)	②  低減措 置 ポイント (3)+(4)+ (5)+(6)+ (7)+(8)	③  推定環境 作業濃度 ポイント ①-②  (0.5は繰 り上げ)	推定単位 作業環境 濃度レベ ル  ③が 5以上:E 4:D 3:C 2:B 1以下:A	リスク レベル		
						(3)インキローラー 洗浄装置 (一度でも手動で洗浄作業 を行う場合は×を選択して 下さい)		(4)ブランケット 洗浄装置 (一度でも手動または 自動(噴霧型)で洗浄を行う 場合は×を選択して下さい)		(5)換気 (一台でも局所排気がついて いない場合は局所排気は× を選択して下さい)		(6)VOC警報器 が警報中近づ かず他の警報 の鳴っていない VOC警報器 周辺に避難す る		(7)廃ウエス 等容器の密 封の徹底		(8)ドクター 刃・受け皿の 定期的な洗 浄										
						手動 (×選択)	自動(洗浄 プログラム)(○ 選択)	手動or 自動(噴霧 型) (×選択)	含浸型洗浄 布 (○選択)	全体換気	局所排気 (外付け)															
						×	○	×	○	×	○	×	○	×	○	×	○	×	○						×	○
インキ	水性ニス	4		2	1	-	-	-	-	0	1	0	1	0	1	-0.5	0	-0.5	0							
	油性インキ	3		2	1	-	-	-	-	0	1	0	1	0	1	-0.5	0	-0.5	0							
	植物油インキ (ベジタブルマーク対応)	3		2	1	-	-	-	-	0	1	0	1	0	1	-0.5	0	-0.5	0							
	ノンVOCインキ・UVインキ	3		2	1	-	-	-	-	0	1	0	1	0	1	-0.5	0	-0.5	0							
湿し水・エッチ液	湿し水 IPA等5%超のアルコール	4		2	2	-	-	-	-	0	1	0	1	0	1	-0.5	0	-0.5	0							
	湿し水 IPA等1～5%以下のアルコール	3		2	2	-	-	-	-	0	1	0	1	0	1	-0.5	0	-0.5	0							
	アルコールレス湿し水	2		2	2	-	-	-	-	0	1	0	1	0	1	-0.5	0	-0.5	0							
	水無し・ドライオフセット	1		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-							
洗浄剤	塩素系溶剤	5		2	2	0	1	0	0.5	0	1	0	1	0	0	-0.5	0	-0.5	0							
	芳香族系炭化水素溶剤	4		2	2	0	1	0	0.5	0	1	0	1	0	0	-0.5	0	-0.5	0							
	石油系および鉱油系溶剤	4		2	2	0	1	0	0.5	0	1	0	1	0	1	-0.5	0	-0.5	0							
	アルコール系およびその他 (植物由来系) 溶剤	4		2	2	0	1	0	0.5	0	1	0	1	0	1	-0.5	0	-0.5	0							
	植物系溶剤	2		2	2	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1	-0.5	0	-0.5	0							
	水系	2		2	2	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1	-0.5	0	-0.5	0							

ベータ版  
(PC手書き作成)

資材のハザードレベルと推定単位  
作業環境濃度レベルのマトリクス

		推定単位作業環境濃度レベル				
		E	D	C	B	A
資材の ハザード レベル	5	5	5	4	4	3
	4	5	4	4	3	2
	3	4	4	3	3	2
	2	4	3	3	2	2
	1	3	2	2	2	1

※数字が大きくなるに連れてハザードレベルは高くなります

総評(対策要否等)

例1) 芳香族系の洗浄剤から石油系の洗浄剤に入れ替える。  
例2) リスクレベルは変わらないが自動洗浄システムを見直し、  
洗浄剤の量を減らせるよう検討している。  
例3) VOC警報器を導入して改善を図る。警報が鳴っても作業を  
行う場合は防毒マスク等の着用する。

リスク  
レベル

責任者

担当者

※単位作業場評価のリスクレベルはインキ、湿し水、洗浄剤全てから見て一番大きい数字になります。  
※右記リスクレベルにはインキ・湿し水・洗浄剤のリスクレベル列から、一番大きな数字を入れてください。

一般社団法人日本印刷産業連合会\_オフセット印刷\_化学物質リスクアセスメントシート\_2018版